

機械器具 58 整形用機械器具

一般医療機器 歯科用インプラント手術器具 (70965001)

カムログ オステオトーム コンケーブ

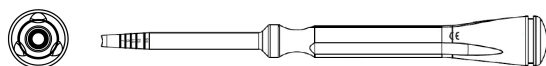
【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は以下の製品で構成される。

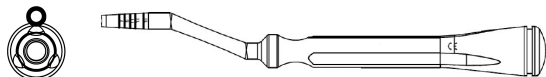
構成品を組み合わせてセットとして販売することがある。

(1) オステオトーム コンケーブ ストレート



サイズ	商品コード
1.7-2.8	J5419.2800
3.3	J5420.3300
3.8	J5420.3800
4.3	J5420.4300
5.0	J5420.5000
6.0	J5420.6000

(2) オステオトーム コンケーブ アングル



サイズ	商品コード
3.3	J5420.3310
3.8	J5420.3810
4.3	J5420.4310
5.0	J5420.5010
6.0	J5420.6010

セットの構成

名称	セットに含まれる構成品	
	型式	商品コード
オステオトームセット コンケーブ ストレート (J5420.0020)	1.7-2.8	J5419.2800
	3.3	J5420.3300
	3.8	J5420.3800
	4.3	J5420.4300
	5.0	J5420.5000
	6.0	J5420.6000

名称	セットに含まれる構成品	
	型式	商品コード
オステオトームセット コンケーブ アングル (J5420.0030)	1.7-2.8	J5419.2800
	3.3	J5420.3310
	3.8	J5420.3810
	4.3	J5420.4310
	5.0	J5420.5010
	6.0	J5420.6010

2. 原材料

ステンレススチール

【使用目的又は効果】**

本品は、歯科用インプラントの外科手術に使用する手動式で再使用可能な器具である。

【使用方法等】**

1. 使用方法

＜埋入窩の形成に使用する場合＞

- ① スパイラルドリル 2.0mm(※a)により、顎骨のフィクスタ埋入部位を穿孔する。
- ② 穿孔した孔に本品の 1.7-2.8mm を挿入し、必要な深さまでマレットリングする。
- ③ 径の小さなものから大きなものに順次マレットリングすることにより、埋入窩壁に側方圧を加えながら埋入床を拡張してゆく。
- ④ 埋入するフィクスタに合ったサイズの本品まで使用し埋入窩を形成した後、皮質骨をフォームドリル(※a)で一層削除する。

＜上顎洞拳上に使用する場合＞

- ① スパイラルドリル 2.0mm(※a)により上顎洞拳上術に適した深度まで顎骨を穿孔する。
- ② 穿孔した孔に本品の 1.7-2.8mm を挿入し、必要な深さまでマレットリングする。
- ③ 本品を、径の小さなものから大きなものに順次使用し、埋入窩の拡張を行う。
- ④ 適切な径の本品を使用して、埋入窩基底部の骨を若木骨折させる。
- ⑤ 本品を使用して、シュナイダー膜を押し上げるように骨補填材を注意深く填入する。この時、シュナイダー膜を破らないように注意する。
- ⑥ 皮質骨をフォームドリル(※a)で一層削除する。

2. 滅菌方法

付着物を洗浄・除去した後、通法に従ってオートクレーブにより滅菌を行う。

ただし、オートクレーブによる加熱温度は 160℃を超えないこと。

3. 併用医療機器(※)

	販売名	届出番号
a	インプラントドリル 外部注水	27B1X00027000102

【使用方法等に関連する使用上の注意】*

- ・インプラント埋入窩を形成する前に埋入部位の計測を行うこと。
- ・埋入窩の形成には適切なインスツルメントを用いること。
- ・本品は非滅菌であるため、使用前には必要に応じて洗浄・消毒もしくは滅菌すること。
- ・折損、変形などの原因になるため必要以上の力を加えないこと。
- ・使用後は付着している血液・組織などが乾燥しないように直ちに洗浄液などに浸漬すること。
- ・強アルカリ・強酸性の洗浄液又は消毒液は、本品を腐食させる恐れがあるので使用を避けること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社アルタデント
大阪府大阪市北区芝田 2-8-31
電話 06-6377-2221

製造業者：Altatec GmbH(アルタテック GmbH)
ドイツ